# 皆満寺通信

第24号

**法語**

**他力と言うは、如来の本願力なり**

**教行信証・行巻　親鸞聖人**

ワールドカップ、今回も代表チームには楽しませてもらいました。午前 3 時に起きて観たベルギー戦、ベルギーに対して２－０になった時には夢を見ました。いけるんじゃないかと・・・。でもまさか残り 20 分で 3 点取られて敗退とは・・・。夢の続きは 4 年後に。

## 他力本願で決勝トーナメント?!

さて、その代表チームが予選リーグ最終節で負けて決勝トーナメントに進めた時、「**他力本願で決勝トーナメント**」といった表現がありました。あの時、引き分ければもう 1 試合の結果はどうであれ決勝トーナメントに進むことは可能でした。こういう時には「**自力**」という言葉が使われます。これは間違いではないでしょう。ですが、今回の代表チームのように負ければ別の試合結果次第で運命が変わる。こういう時に「**他力本願**」と使われるのですが、**実はこの使い方は間違いです。**あれは勝敗でも得失点でも並んで、当該チームは引き分けてるし、フェアプレーポイントの差で行けたんだから他力じゃない。自力だと言う人もいましたが、**この場合も他力の意味することは間違っています。**

## 他力と言うは、如来の本願力なり

では、他力とは一体何か。親鸞聖人は自身の著書である教行信証で「**他力と言うは、如来の本願力なり**」とおさえておられます。

如来、阿弥陀さまのお力であると。しかも全ての人を救おうと建てられ誓われたご本願（根本の願い）の力であると。また、親鸞聖人のお手紙には「他力と申すは、行者のはからいのちりばかりもいらぬなり」とあります。

これをどう読みますか？他力というのは、全ての人に働く如来の根本の願いの力、私たちの思いを叶えるものではない。そう読むことが出来ると思います。

## そんな都合の良いもの<br>他力とは呼ばない

あの時、日本が決勝トーナメントへ進めた場面で働いていた力が他力であれば、セネガルの人々は如来の願いから漏れていたことになります。ですが如来は一人たりとも漏らしません。阿弥陀さまを画き、象るとき、阿弥陀さまの掌、指の間には水かきのようなものを画きます。すくい上げたものを一滴も漏らさない。一人残らずに救いきる。そのことの表現です。それが阿弥陀さま、如来の根本だからです。

だから自分の勝手な思いだけを一方的に叶えてくれるもの、片方だけの願いを叶えてくれるもの、そんな都合の良いものを**他力とは呼ばないんです。**そんなものは仏さまでも何でもありません。よく「神や仏を拝むと言いなが

ら拝んでいるものは神や仏ではなく自分の欲望だ」といいますが、まったくその通りです。
　私が手を合わせているものは一体何でしょう？一度立ち止まって見つめ直してみたいものです。
　余談？ですが、**あの試合中にも他力の力きちんと働いています。**ただし、ポーランドの選手にも他会場の選手にも、観客にも。もちろん私たちにも。人間を立ち上がらせようと止まない、私を支え続ける力として。一人の人間の尊厳を守る力として。南無阿弥陀仏という名告りとなって。

## 盂蘭盆会法要のご案内

**8月13日(月)～15日(水)**
**午前10時から正午まで**
**※15日は全戦没者追弔会兼**
**平和の鐘は15日正午に**

母の亡骸は母のものだが
母の死は残された私のものだ
藤川幸之助

　人は身近な人の亡骸に触れ、死を私縁として仏縁を頂くことが多いです。仏法や宗教的なものとの出会いが死を通してではなかった人も、近しい人との死別を通して向き合い直すものではないでしょうか。今年もお盆がやってきます。一緒にお参りしましょう。

　藤川さんの詩はこう結ばれます。

母を刻んだ私をどう生きていくか
それが命を繋ぐということ
この私自身が母の遺言

**皆さまのお参りをお待ちしています**

## お内仏のお荘厳
## お盆編

　お内仏（お仏壇）のお荘厳（お飾り）は平生と違い、ご法事などの仏事の時と同等のお荘厳になります。お荘厳を整えてお盆をお迎え下さい。

まず平生の状態をチェックしましょう。

チェックシート的にお使い下さい。
□①三具足（燭台、香炉、花瓶）
□②お仏供
□③お華瓶（樒）※あれば

**上記にプラスして**

□①打敷
□②朱蝋
□③焼香
□④お華束
□⑤切籠
　（盆灯籠）

⑤切籠
一般的な盆灯籠でも構いません。
※切籠はお盆だけですが①～④はご法事やお彼岸、お正月にもご準備下さい。

きちんとお掃除して整えましょう。

落雁代用した杉盛華束

箔供笥

## 仏事メモ
## お華束(けぞく)

### お内仏にお菓子や果物を お備えしないってご存じですか?

と言うと驚かれると思いますが、お菓子や果物をお荘厳としてお備えすることはありません。お仏供以外にお備えするものとしてはお華束のみです。お華束とは白餅を杉盛（杉形）に盛ったお備えです。文字通り華を模したものですから、餅の用意が困難な時は花型の落雁などを代用するとよいのではないでしょうか。白い上用饅頭を**代用**することも多く見受けられますが、あくまでも代用であると心得て、華を模したものとかけ離れたものは避けるべきだと思います。

お備えするのは平生時以外のご法事やお盆、お彼岸、報恩講などです。お備えするのには本来白木の供笥(くげ)を用いますが､箔供笥でも構いません。但し報恩講に於いては杉盛でなく須彌盛となり、箔供笥を用います。

備える場所はお内仏の造り、大きさによって備えられない場合がありますが、上卓の両脇が適当です。

## 坊守(おくり)さん通信

今年も暑い夏になりそうですね。そんな中、毎年たくさんの門徒さんにお盆の法要に足を運んでいただけることをとても嬉しく思います。

皆満寺に嫁いでもうすぐ13年になります。だいぶ門徒さんのお顔がわかるようになりました。なかなか名前が覚えられませんが、毎年皆さんに会えるのを楽しみにしています。

お盆の法要だけではなくお彼岸や永代経、納骨総経、修正会、そして報恩講があります。そこで皆さんと一緒にお参りできることが今は何より嬉しいです。

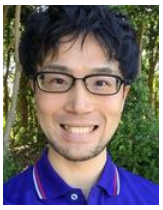
今後、通信で日々感じることをお伝えできたらいいなと思っています。

まだまだ未熟な私ですがこれからもよろしくお願いいたします。

## 満たんヨガのご案内

**毎月最終月曜**
**午後７時半～８時半**

**心も身体も満たんに**
**本堂でヨガしませんか？**



講師 新美成果氏
（ヨガインストラクター）

**第２回お試しヨガ（6 月 25 日）の様子**
**こんな感じで始まってます!**

お寺でヨガ始まりました。その名も…**満たんヨガ!!**「お寺にもっともっと沢山の人が来て欲しい。お寺の持っている場の力、空気をいろんな人に感じて欲しい」そんな思いをもってくれている若い子たちが声を掛けてくれました。月の最後の月曜の夜、お寺で自分の身体と対話してみませんか？

参加費 1，000 円（高校生以上）
※保護者同伴の中学生以下のお子さま一人は無料。二人以上 1,000 円（何人でも）です。
開催予定日　8/27、9/24、10/29、11/26
1/29（12 月はお休みです）２月以降も基本最終月曜の予定です。

**申込、お問い合わせはお寺まで!!**

## 諸案内

**お彼岸会**
**９月 23 日（日）**
**午前 10 時～正午**
**仏教讃歌ミニコンサート**

**♪さんかの会♪**
**毎月第２・第４金曜午後１時**

やさしいメロディー♪にのせた仏さまの温かな言葉に触れてみませんか？どなたでもご参加いただけます。

**【後書き】**

▼この半年「グリーフケア」の学びの縁を頂いた。グリーフ、直訳すれば「深い悲しみ」を意味する言葉、大切な人を失ったときに起こる身体上・精神上の変化のことと学びました。死別はもちろん、離婚などによって関係がきれる時、引越しで慣れ親しんだ場所から離れる時、職を失くした時、ペットが死んだ時、様々な状況で遭遇するグリーフ。ケアというと拒否反応や支えられないと言った思いが先立ちますが、お寺やお寺に関わる人の繋がりがとても大きなサポートに繋がることを知りました。人の縁、大切に生きていきたいものです。

「皆満寺通信」 第24号
2018年7月23日発行
〒470―2339
愛知県知多郡武豊町下門 137
真宗大谷派　皆 満 寺
住職 永尾圭吾
TEL 0569-72-0435
FAX 0569-72-0740
URL　http//www.kaimanji.or.jp
Mail　jinguzan-137@kaimanji.or.jp